

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 5 - 2 - 1

小事業	児童手当支給経費	課名	子ども育成課	(令和4年4月1日現在)				
説明文		数値目標						
【事業のゴール】 児童を養育している方に手当を支給することにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを社会全体で支援する。		【事業のゴールの数値目標】 なし 【設定理由】 地方自治法上の法定受託事務であり、受給者数の増加を目的とした事業ではないため、目標とする具体的な数値目標は設けない。						
【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】 手当を受給するには申請が必要であるため、児童の出生日や転出予定日の翌日から15日以内に申請するよう周知・広報を行う。		【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】 なし 【設定理由】 地方自治法上の法定受託事務であり、受給者数の増加を目的とした事業ではないため、目標とする具体的な数値目標は設けない。						
予算	予算額（円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額（円）	4,550,000,000	4,400,000,000					
ゴールの数値目標	目標値	-	-	-	-	-	-	
	実績値	-						

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 5 - 2 - 2

小事業	子ども医療費助成事業	課名	子ども育成課	(令和4年4月1日現在)				
説明文		数値目標						
【事業のゴール】 安心して子どもを生み、子育てができるよう、子どもの疾病の早期発見と治療を促進する。		【事業のゴールの数値目標】 なし 【設定理由】 子育て世帯の経済的な負担を軽減することを目的として、医療費の一部を助成する制度であり、受給者数や助成額の増減を目的とした制度ではないため目標とする具体的な数値目標は設けない。						
【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】 現在償還払いとなっている小・中学生の医療費については、一時的に養育者が医療費を負担することとなり、貧困世帯においては受療機会が制限されてしまう懸念がある。こういった状況を防ぐため、現物給付対象の拡大を目指す。		【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】 なし 【設定理由】 子育て世帯の経済的な負担を軽減することを目的として、医療費の一部を助成する制度であり、受給者数や助成額の増減を目的とした制度ではないため目標とする具体的な数値目標は設けない。						
予算	予算額（円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額（円）	760,000,000	755,000,000					
ゴールの数値目標	目標値	-	-	-	-	-	-	
	実績値	-						

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 5 - 2 - 3

小事業	国立幼稚園利用給付経費		課名	保育所・幼稚園課				(令和4年4月1日現在)
説明文			数値目標					
<p><b>【事業のゴール】</b>                  全ての子どもが安心して質の高い幼児教育・保育を受けられるよう、令和元年10月から幼児教育・保育の無償化が開始され、子ども・子育て支援新制度に移行していない幼稚園や認可外保育施設、幼稚園預かり保育等を利用した際の利用料に対する給付制度が「子育てのための施設等利用給付」として創設されました。                  本市では、この新たな制度に則り、保護者が子育てのための施設等利用給付を円滑に利用できるよう、公正かつ適正な支給を確保します。</p>			<p><b>【事業のゴールの数値目標】</b>                  なし</p> <p><b>【設定理由】</b>                  幼保無償化（幼児教育・保育の無償化）に関わる下記事業については、国が主導する制度であり、数値目標等の項目を市で独自に設定することが困難であるため、数値目標やKPI等は「なし」としている。</p>					
<p><b>【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】</b>                  なし</p>			<p><b>【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】</b>                  なし</p> <p><b>【設定理由】</b></p>					
予算	予算額（円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額（円）	22,464,000	19,332,000					
ゴールの数値目標	目標値	-	-	-	-	-	-	
	実績値	-						

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 5 - 2 - 3

小事業	私立幼稚園利用給付経費		課名	保育所・幼稚園課				(令和4年4月1日現在)
説明文			数値目標					
<p><b>【事業のゴール】</b>                  全ての子どもが安心して質の高い幼児教育・保育を受けられるよう、令和元年10月から幼児教育・保育の無償化が開始され、子ども・子育て支援新制度に移行していない幼稚園や認可外保育施設、幼稚園預かり保育等を利用した際の利用料に対する給付制度が「子育てのための施設等利用給付」として創設されました。                  本市では、この新たな制度に則り、保護者が子育てのための施設等利用給付を円滑に利用できるよう、公正かつ適正な支給を確保します。</p>			<p><b>【事業のゴールの数値目標】</b>                  なし</p> <p><b>【設定理由】</b>                  幼保無償化（幼児教育・保育の無償化）に関わる下記事業については、国が主導する制度であり、数値目標等の項目を市で独自に設定することが困難であるため、数値目標やKPI等は「なし」としている。</p>					
<p><b>【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】</b>                  なし</p>			<p><b>【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】</b>                  なし</p> <p><b>【設定理由】</b></p>					
予算	予算額（円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額（円）	460,000,000	440,000,000					
ゴールの数値目標	目標値	-	-	-	-	-	-	
	実績値	-						

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 5 - 2 - 3

小事業	預かり保育利用給付経費	課名	保育所・幼稚園課 (令和4年4月1日現在)					
説明文		数値目標						
<p><b>【事業のゴール】</b>                  全ての子どもが安心して質の高い幼児教育・保育を受けられるよう、令和元年10月から幼児教育・保育の無償化が開始され、子ども・子育て支援新制度に移行していない幼稚園や認可外保育施設、幼稚園預かり保育等を利用した際の利用料に対する給付制度が「子育てのための施設等利用給付」として創設されました。                  本市では、この新たな制度に則り、保護者が子育てのための施設等利用給付を円滑に利用できるよう、公正かつ適正な支給を確保します。</p>		<p><b>【事業のゴールの数値目標】</b>                  なし</p> <p><b>【設定理由】</b>                  幼保無償化（幼児教育・保育の無償化）に関わる下記事業については、国が主導する制度であり、数値目標等の項目を市で独自に設定することが困難であるため、数値目標やKPI等は「なし」としている。</p>						
<p><b>【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】</b>                  なし</p>		<p><b>【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】</b>                  なし</p> <p><b>【設定理由】</b></p>						
予算	予算額（円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額（円）	17,000,000	17,000,000					
ゴールの数値目標	目標値	-	-	-	-	-	-	
	実績値	-						

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 5 - 2 - 3

小事業	認可外保育施設等利用給付経費	課名	保育所・幼稚園課 (令和4年4月1日現在)					
説明文		数値目標						
<p><b>【事業のゴール】</b>                  全ての子どもが安心して質の高い幼児教育・保育を受けられるよう、令和元年10月から幼児教育・保育の無償化が開始され、子ども・子育て支援新制度に移行していない幼稚園や認可外保育施設、幼稚園預かり保育等を利用した際の利用料に対する給付制度が「子育てのための施設等利用給付」として創設されました。                  本市では、この新たな制度に則り、保護者が子育てのための施設等利用給付を円滑に利用できるよう、公正かつ適正な支給を確保します。</p>		<p><b>【事業のゴールの数値目標】</b>                  なし</p> <p><b>【設定理由】</b>                  幼保無償化（幼児教育・保育の無償化）に関わる下記事業については、国が主導する制度であり、数値目標等の項目を市で独自に設定することが困難であるため、数値目標やKPI等は「なし」としている。</p>						
<p><b>【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】</b>                  なし</p>		<p><b>【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】</b>                  なし</p> <p><b>【設定理由】</b></p>						
予算	予算額（円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額（円）	31,400,000	40,000,000					
ゴールの数値目標	目標値	-	-	-	-	-	-	
	実績値	-						

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 5 - 2 - 4

小事業	要・準要保護児童就学援助経費		課名	教育総務課 (令和4年4月1日現在)				
説明文			数値目標					
<p><b>【事業のゴール】</b> 就学援助として学用品購入費等の支給を行い、経済的理由によって就学困難と認められる児童が、安心して義務教育を受けることができる環境を整える。</p>			<p><b>【事業のゴールの数値目標】</b> なし</p> <p><b>【設定理由】</b> 要保護児童生徒については国の補助事業とであり、準要保護児童生徒については、要保護児童生徒に準ずる程度に困窮しているものとして、国の要保護児童生徒への支給基準に沿って支給していることから、目標値の設定は適当ではない。</p>					
<p><b>【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】</b> 制度対象者に対し、事業の実施・内容・申請方法・時期等が伝わるよう積極的に周知し、申請もれや申請遅れが少なくなるよう働きかけること。</p>			<p><b>【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】</b> 申請期間中に保護者向けメールサービス（さくら連絡網）による周知を3回実施する。</p> <p><b>【設定理由】</b> 申請漏れや申請遅れをさらに減少させるために、周知回数を2回から3回に増やす。</p>					
予算	予算額（円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額（円）	256,798,000	254,353,000					
ゴールの数値目標	目標値	-	-					
	実績値	-	-					

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 5 - 2 - 5

小事業	生活困窮者支援		課名	福祉政策課 (令和4年4月1日現在)				
説明文			数値目標					
<p><b>【事業のゴール】</b> 生活困窮者等自立支援事業、生活保護受給者等就労自立促進事業の推進を図ります。 また、自立相談支援事業の周知を図り、関係各所との連携を密にして、支援対象者の状況に応じた就労支援を実施することにより、生活困窮者及び生活保護受給者の生活の安定、就労による自立を促進します。</p>			<p><b>【事業のゴールの数値目標】</b> なし</p> <p><b>【設定理由】</b> 生活困窮者支援については、くらしとしごとサポートセンターで相談支援等の事業を行っていますが、子どもの貧困対策に特化した数値を出すことが難しいと思われます。</p>					
<p><b>【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】</b> 生活困窮者自立支援事業の普及啓発。 自立支援事業を実施している奈良市くらしとしごとサポートセンター、奈良市若者サポートセンターでは、シングルマザーや養育が心配な家庭、不登校などのケースに対して、子どもセンターや学校などの教育機関と協働した支援を実施しています。 こうした支援をよりよいものとするため以下が重要と考えます。 ①支援機関がそれぞれの強みを生かせる協力支援体制を構築するため、けって任せっきりにならないリファアの意味の共有 ②学習支援との連携の必要性の確認 ③子どもが気軽にSOSを発信できるための学校、家庭以外の第3の場の資源開発</p>			<p><b>【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】</b> なし</p> <p><b>【設定理由】</b> -</p>					
予算	予算額（円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額（円）	57,500	57,500					
ゴールの数値目標	目標値	-	-	-	-	-	-	
	実績値	-	-	-	-	-	-	

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 5 - 2 - 6

小事業	放課後児童健全育成事業、伏見バンビーホーム建設事業、西大寺北バンビーホーム建設事業、鶴舞バンビーホーム整備事業、済美バンビーホーム建設事業		課名	地域教育課・教職員課				(令和4年4月1日現在)
説明文			数値目標					
【事業のゴール】 市内全小学校区で放課後児童健全育成事業（バンビーホーム）を実施し、保護者が仕事等の事情で留守をしている間も安心して過ごせる場所の提供を行っている。バンビーホームに求められる保育内容は多様化・複雑化しており、安定した保育の提供と質の一層の向上のため、職員の専門性や資質の向上が必要である。また、少子化に伴い児童数が減少する一方、バンビーホーム利用児童数は増加している。そのため、人員確保や専門性の向上を図りつつ、必要な施設整備を行い、施設の狭あい化や老朽化を解消する。			【事業のゴールの数値目標】 放課後児童健全育成事業利用児童数（5月1日現在）					
【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】 安定した保育の提供と質の一層の向上のため、厚生労働省の放課後児童クラブ運営指針に基づき、放課後児童支援員（常勤）一人当たり児童数20名以下とすることを強化すべき部分としてKPIを設定する。なお、本KPIは第5次奈良市総合計画の指標としても設定予定である。			【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】 放課後児童支援員（常勤）一人当たり児童数20名以下のホーム数					
【設定理由】 子ども・子育て支援法第61条に基づき策定されている第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画に基づく目標値のため。			【設定理由】 バンビーホーム利用児童数が増加する中、常勤の放課後児童支援員（有資格者）の不足は深刻な課題であり、現在は非常勤の補助員等で不足を補っている状況である。安定した保育と質の向上を担保するため、常勤の放課後児童支援員数を確保する必要がある。					
予算	予算額（円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額（円）	1,322,732,000	798,466,000					
ゴールの数値目標	目標値	3,980	4,179	4,358	4,521			・令和7年度、8年度の目標値は、令和6年度に策定される予定の第三期奈良市子ども・子育て支援事業計画により設定を行う。 ・令和4年度予算から人件費が教職員課に移管されたため、前年度比で大幅減となっている。
	実績値	3,574						

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 5 - 2 - 7

小事業	放課後子ども教室推進事業経費		課名	地域教育課				(令和4年4月1日現在)
説明文			数値目標					
【事業のゴール】 少子化・高齢化の進展、地域の繋がりの希薄化等を背景に、地域全体で子どもたちを育てる取組として、学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもたちの安全・安心な活動拠点確保の必要性が高まっている。子どもたちが地域社会の中で、心豊かに健やかに育まれる仕組みづくりを推進する。			【事業のゴールの数値目標】 放課後子ども教室の年間実施日数					
【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】 地域学校協働活動に参加するボランティア協力者の増加			【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】 ボランティア協力者数：115,000人（2026年度）					
【設定理由】 子どもたちの安全・安心な居場所を確保し、子どもたちが地域社会の中で、心豊かに健やかに育まれるよう、各教室の年間実施日数をコロナ禍以前の基準に戻す。目標値は、コロナの影響を受ける前の実施日数実績を基準とし、5カ年で5日増加させた数値とする。			【設定理由】 地域と学校が連携・協働した事業を推進し、地域全体で子どもを守り育てる仕組みづくりや地域の教育力の再生・地域コミュニティの活性化を目指すには、多くの地域ボランティアの参画が必要であるため。					
予算	予算額（円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額（円）	19,712,000	19,691,000					
ゴールの数値目標	目標値	35	31	32	33	34	35	
	実績値	13						

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No	5	-	2	-	8			
小事業	児童館運営管理経費			課名	子ども育成課 (令和4年4月1日現在)			
説明文				数値目標				
<p>【事業のゴール】</p> <p>児童の健全育成とともに市民との協働による子育て支援の拠点として、また、児童の健全育成の場として事業を行い、より開かれた児童館をめざす。加えて、安全面を第一に、施設の老朽化具合などにより優先順位をつけて、計画的に整備を進める。</p>				<p>【事業のゴールの数値目標】</p> <p>児童館(4館)の利用者数：22,000人</p> <p>【設定理由】</p> <p>新型コロナウイルス感染症により利用者は減少しているが、新たな利用者の獲得や独自性のある方策により利用者の増加を図る必要があるため。</p>				
<p>【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現在、主な利用者が小中学生であるが、児童館は0歳～18歳を対象とした施設であることから、高校生の居場所作りを行う必要がある。</li> <li>4館中3館において午前中に地域子育て支援拠点事業を実施しているが、1日平均の利用者が1組未満の月もあるという状況であるため、利用者の増加を図る必要がある。</li> <li>児童館の運営について、令和2年度より指定管理者制度を導入しているが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、独自性のある事業展開や、ホームページ等を用いた広報を行っていない。</li> </ul>				<p>【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】</p> <p>高校生の集える場の提供、講座等の実施 月1回程度 市役所のスペースやホームページ等を利用した事業の周知 随時</p> <p>【設定理由】</p> <p>児童館の利用者増加に向けて、普段の活動内容やイベント等の内容を周知する機会を増やし、また、現在ほとんど利用のない高校生についても、積極的に居場所作りや小中高生の学年をまたいでの交流等を行うことにより、事業の充実にさらにつなげることができるため。</p>				
予算	予算額(円) 決算額(円)	令和3年度 139,022,000 138,073,000	令和4年度 126,909,000	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
ゴールの数値目標	目標値	27,600	18,700	19,500	20,200	21,100	22,000	
	実績値	17,794						

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No	5	-	2	-	9			
小事業	地域子育て支援拠点事業経費			課名	子ども育成課 (令和4年4月1日現在)			
説明文				数値目標				
<p>【事業のゴール】</p> <p>地域の子育て親子の交流促進及び育児相談等を実施し、子育ての孤立感、負担感の解消を図り、全ての子育て家庭を地域で支える取組を行っている。加えて、地域の実情に応じ、地域に根ざした運営を行い、関係機関及び子育て支援活動を実施する団体等と連携を図る。</p> <p>また、令和4年度に開設した奈良市子どもセンター内の地域子育て支援拠点事業においては、様々な機能を統合した総合的な子育て支援施設としての機能を活かし、地域の子育て親子の交流促進及び育児相談等を実施し、子育ての孤立感、負担感の軽減を図り、子育て家庭を地域で支える取組を行う。</p>				<p>【事業のゴールの数値目標】</p> <p>子育て中の親子の集える場の利用者数：109,400人</p> <p>【設定理由】</p> <p>地域に根ざした子育ての場として、利用しやすい広場運営を目指し、訪問型の支援や親子の絆づくりプログラム、オンラインを始めとした様々な講座等により利用者が広場や他の利用者、地域とつながり、子育てに関する不安を軽減できるよう、利用者数の増加を図る。</p>				
<p>【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】</p> <p>地域子育て支援拠点の新規利用者数の増加及び妊娠期からの切れ目ない支援を目的としたプレババ・プレママ向け支援の実施</p>				<p>【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】</p> <p>地域子育て支援拠点の新規利用者数：22,000人/年 プレババ・プレママ向け講座：各地域子育て支援拠点において1回/年</p> <p>【設定理由】</p> <p>地域に根ざした子育ての場として、存在を知っていただき利用していただくことが支援のスタートとなることから、新規利用者数を指標とし、広報の強化やオンライン講座の実施及び出張講座等のアウトリーチ型支援により、広場と繋がる機会をより多く設け、新規利用者数の増加を図る。また、統括拠点においては、初めて赤ちゃんを育てている母親向けの「親子の絆づくりプログラム」を実施し、子育ての不安軽減や子育ての仲間づくりができる取組も行う。</p>				
予算	予算額(円) 決算額(円)	令和3年度 116,662,000 108,695,704	令和4年度 137,276,000	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
ゴールの数値目標	目標値	167,000	101,500	103,400	105,400	107,400	109,400	
	実績値	73,702						

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 5 - 2 - 10

小事業	公民館運営管理経費		課名	地域教育課、人事課 (令和4年4月1日現在)				
説明文			数値目標					
<p><b>【事業のゴール】</b>                  少子高齢化や核家族化が進み、地域のつながりの希薄化や地域の教育力の低下が課題となっている。また、近年の社会的要因により、生きづらさを感じている若者が増加しており、「青年教育の充実」や「若者支援の取組」を行う必要がある。そのために、公民館の利用者を増やし、多様な利用者同士の交流を図ることで、地域住民が互いに協力し、地域の身近な課題を自らの手で解決することができる環境を整備する。</p>			<p><b>【事業のゴールの数値目標】</b>                  利用者数の増：485,000人</p> <p><b>【設定理由】</b>                  新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、近年の利用者数が大幅な減少となっているが、令和8年度には485,000人となることを目指し、各年度の利用者数を前年度の約10%増と仮定する。</p>					
<p><b>【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】</b>                  自主グループの利用促進</p>			<p><b>【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】</b>                  自主グループの新規登録数：100グループ/年</p> <p><b>【設定理由】</b>                  自主グループの利用増加によって、市民が生涯学習センター・公民館へ来館する機会を増やす。利用者同士の交流や主催講座への参加へとつなげる。</p>					
予算	予算額（円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額（円）	606,000,000	606,000,000					
ゴールの数値目標	目標値	299,000	329,000	362,000	399,000	440,000	485,000	
	実績値	330,927						

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 5 - 2 - 11

小事業	保育所等の延長保育		課名	保育総務課、保育所・幼稚園課 (令和4年4月1日現在)				
説明文			数値目標					
<p><b>【事業のゴール】</b>                  保護者の就労形態の多様化に伴う延長保育の需要に対応するため、保育所や認定こども園等において認定された利用時間を超えた保育を実施し、就労世帯等の支援を図ります。</p>			<p><b>【事業のゴールの数値目標】</b>                  年間利用人数（2,865人）</p> <p><b>【設定理由】</b>                  第二期子ども・子育て支援事業計画において、令和6年までの目標値を設定しているため、令和7年度以降については、令和6年度と同じ値を設定し、第三期子ども・子育て支援事業計画策定の際に修正する。</p>					
<p><b>【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】</b>                  事業の利用等に関する情報の周知</p>			<p><b>【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】</b>                  周知する媒体の数：3媒体（HP、入園のしおり、入園説明会時の資料）</p> <p><b>【設定理由】</b>                  利用人数を増加させるためには、利用に関する情報（利用可能な園、利用方法、利用料等）を保護者に周知する必要がある。保護者が利用しやすくなるよう、保護者が必要とする情報をより周知できるようにする。</p>					
予算	予算額（円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額（円）	138,791,000	142,156,000					
ゴールの数値目標	目標値	-	2,664	2,765	2,865	2,865	2,865	
	実績値	2,163						

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 5 - 2 - 11

小事業	保育所等における食育の推進		課名	保育総務課、保育所・幼稚園課 (令和4年4月1日現在)				
説明文			数値目標					
【事業のゴール】 乳幼児期からの適切な食事のとり方や望ましい食習慣の定着、食を通じた豊かな人間性の育成など、心身の健全育成を図る。			【事業のゴールの数値目標】 食育計画を策定している公立園の割合：100%					
			【設定理由】 各園の現状や課題・年齢に基づいた食育計画を作成し、切れ目のない食育の機会を設ける。					
【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】 家庭と保育現場の連携を行いながら、食育を推進する。			【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】 食育だよりの発刊回数：4回/年					
			【設定理由】 「食育だよりの」を発刊し家庭に対し情報提供を行うことで、家庭との連携を図るためのツールとなるため。					
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
予算	予算額（円）	0	0					
	決算額（円）	0						
ゴールの数値目標	目標値	—	100	100	100	100	100	
	実績値	100						

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 5 - 2 - 12

小事業	保育所等の一時預かり事業		課名	保育所・幼稚園課 (令和4年4月1日現在)				
説明文			数値目標					
【事業のゴール】 保護者のパート就労や病気等により、家庭での保育が一時的に困難となる場合や、育児に伴う保護者の身体的・心理的負担軽減のため、児童を保育所等において一時的に預かり、子育て世帯の支援を図る。			【事業のゴールの数値目標】 一時預かり事業利用者数：11,414人					
			【設定理由】 第二期子ども・子育て支援事業計画において、令和6年度までの目標値を設定しているため、令和7年度以降については、令和6年度と同じ値を設定し、第三期子ども・子育て支援事業計画策定の際に修正する。					
【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】 事業の利用等に関する情報の周知			【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】 周知する媒体の数：3媒体（HP、入園のしおり、なら子育て情報ブック）					
			【設定理由】 利用人数を増加させるためには、利用に関する情報（利用可能な園、利用方法、利用料等）を保護者に周知する必要がある。保護者が利用しやすくなるよう、保護者が必要とする情報をより周知できるようにする。					
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
予算	予算額（円）	83,595,000	92,720,000					
	決算額（円）	48,880,000						
ゴールの数値目標	目標値	11,414	11,414	11,414	11,414	11,414	11,414	
	実績値	7,350						

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 5 - 2 - 12

小事業	幼稚園等の一時預かり事業		課名	保育総務課、保育所・幼稚園課（令和4年4月1日現在）				
説明文			数値目標					
【事業のゴール】 幼稚園や認定こども園の通常の教育時間外に、希望する在園児を対象に一時預かり事業を実施し、保護者の子育てを支援します。			【事業のゴールの数値目標】 年間延べ利用者（人日）（136,286人日）					
			【設定理由】 第二期子ども・子育て支援事業計画において、令和6年までの目標値を設定しているため、令和7年度以降については、令和6年度と同じ値を設定し、第三期子ども・子育て支援事業計画策定の際に修正する。					
【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】 事業の利用等に関する情報の周知			【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】 周知する媒体の数：3媒体（HP、入園のしおり、入園説明会時の資料）					
			【設定理由】 年間延べ利用者（人日）を増加させるためには、利用に関する情報（利用可能な園、利用方法、利用料等）を保護者に周知する必要がある。保護者が利用しやすくなるよう、保護者が必要とする情報をより周知できるようにする。					
予算	予算額（円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額（円）	169,398,000	179,311,000					
ゴールの数値目標	目標値	-	128,347	132,317	136,286	136,286	136,286	
	実績値	107,093						

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 5 - 2 - 13

小事業	子育て短期支援事業経費		課名	子育て相談課（令和4年4月1日現在）				
説明文			数値目標					
【事業のゴール】 保護者が疾病や就労等の理由により家庭において児童の養育が緊急一時的に困難となった場合、児童養護施設や乳児院、里親宅、ファミリーホーム等において養育を行い、親の子育てに対する不安感や負担感の軽減を図る。			【事業のゴールの数値目標】 利用者数300人日					
			【設定理由】 平成30年度217人日、令和元年度215人日、令和2年度122人日、令和3年度116人日と、新型コロナウイルス感染症の影響が実績が少なくなっている。通常の受け入れの状態になった場合を見据え、他の計画目標を参考に設定した。。					
【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】 市内里親への委託（受け入れ先）を増やす			【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】 受け入れ可能な里親を6件に増やす					
			【設定理由】 市内において利用可能な預かり施設（児童養護施設等）が少ないため、市内の受け入れ先を里親で確保する必要がある（市内の里親登録件数は令和3年度26件、令和4年度は27件）。令和3年度の委託件数3件を基準に、令和8年度までに受け入れ先を6件までに倍増させる。					
予算	予算額（円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額（円）	1,543,000	1,541,000					
ゴールの数値目標	目標値	300	300	300	300	300	300	
	実績値	116						

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 5 - 2 - 14

小事業	ファミリー・サポート・センター事業経費		課名	子ども育成課 (令和4年4月1日現在)				
説明文			数値目標					
<p><b>【事業のゴール】</b> 核家族化や地域社会の活力低下に伴い、子育て親子の孤立化や、子育てに悩む親が急増しているため、地域での子育ての仲間づくりや地域コミュニティの活性化を目的とし、会員による相互援助活動を行い、地域の中における子育て支援の充実を図る。</p>			<p><b>【事業のゴールの数値目標】</b> 援助会員及び両方会員の人数：610人</p> <p><b>【設定理由】</b> 本事業において、援助会員の確保は喫緊の課題である。令和3年度実績において、依頼会員の数は1,799人であるが、援助・両方会員の数は466人となっており、援助会員及び両方会員の増加を図らなければ、依頼会員の支援ニーズに対応できない恐れがあるため。</p>					
<p><b>【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】</b> 援助会員及び両方会員の増加</p>			<p><b>【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】</b> はぐくみセンター以外の場所での講習会の実施 1回/年</p> <p><b>【設定理由】</b> 現在まで、援助会員及び両方会員になるための講習会は、はぐくみセンターのみで開催していたが、様々な地域で講習会を開催することで、当該地域に居住する方の参加が見込め、援助会員の増加に資すると考えられるため。</p>					
予算	予算額(円)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額(円)	8,481,000	8,078,000					
ゴールの数値目標	目標値	-	490	520	550	580	610	
	実績値	458						

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 5 - 2 - 15

小事業	養育支援訪問事業経費		課名	子育て相談課、人事課 (令和4年4月1日現在)				
説明文			数値目標					
<p><b>【事業のゴール】</b> 児童虐待を予防するには、妊娠期から切れ目のない支援や、産後早期に子育て家庭への予防的な関わりが重要である。保護者の養育を支援することが特に必要と認められる家庭等に対し、専門職（保育士等）が訪問し、養育に関する相談、助言などの支援を行う。また、家事や育児についてサポートが必要である世帯に対して、ホームヘルパーを派遣し、保護者の家事支援を行う。</p>			<p><b>【事業のゴールの数値目標】</b> 支援家庭数75世帯</p> <p><b>【設定理由】</b> 令和3年度の実績は数値目標を上回っているが、子ども子育て支援計画等の他計画との整合性を合わせた数値目標とした。子育てに関する支援を受けることが困難であり、子育てに対する不安、負担感、孤立感等を抱える家庭からのニーズは高く、より充実した支援を行う。</p>					
<p><b>【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】</b> 妊娠期からの切れ目のない係わりと都度行われる周知</p>			<p><b>【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】</b> チラシ配布（家事支援事業）：妊娠期から生後4か月までに3回</p> <p><b>【設定理由】</b> 事業の数値目標としては大幅に達成できている。その理由として①母子手帳配布時②出生届出時③乳児家庭全戸訪問時の3回のチラシ配布により妊娠期からの切れ目のない周知を図っていることが考えられるため堅持する。</p>					
予算	予算額(円)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額(円)	2,214,000	5,967,000					
ゴールの数値目標	目標値	75	75	75	75	75	75	
	実績値	97						

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 5 - 2 - 16

小事業	子育て制度利用者支援事業経費		課名	子ども育成課、人事課 (令和4年4月1日現在)				
説明文			数値目標					
<p><b>【事業のゴール】</b> 一人一人の子どもが健やかに成長することができる地域社会の実現に寄与するため、子育て親子や妊娠している方が、その選択に基づき教育・保育・保健その他の子育て支援を円滑に利用できるような必要な支援を行う。 また、それらの支援をより効果的に行えるよう、関係機関との連絡・調整・連携・協働の体制を確保する。</p>			<p><b>【事業のゴールの数値目標】</b> 「教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を提供している関係機関との連絡・調整、連携、協働の体制づくり」の実施件数：600件</p> <p><b>【設定理由】</b> 子育てナビゲーターの主たる業務は、地域子育て支援拠点事業を始めとする子育て支援関係事業や関係課との連絡調整、相談支援である。そのため、当該業務を行った件数を指標とすることで、子育て支援事業との連携状況を可視化するため。</p>					
<p><b>【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】</b> 地域子育て支援拠点等の子育て広場及び関係機関との関係作り</p>			<p><b>【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】</b> 地域子育て支援拠点等子育て関係広場又は関係機関への訪問：1回/週以上</p> <p><b>【設定理由】</b> 運営に関する相談や利用者に関する情報提供、地域資源の育成等、事業を行っていくに当たっては、各子育て広場等の従事者との関係作りが不可欠である。また、実際に現場を訪問することにより、現状把握を直接行うことができ、市民等への相談対応も適切に行うことができる。</p>					
予算	予算額（円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額（円）	4,151,000	4,172,000					
ゴールの数値目標	目標値	-	600	600	600	600	600	
	実績値	-						

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 5 - 2 - 16

小事業	利用者支援事業		課名	保育所・幼稚園課、人事課 (令和4年4月1日現在)				
説明文			数値目標					
<p><b>【事業のゴール】</b> 就学前の子どもとその保護者や妊娠している方が、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、身近な場所で情報収集や提供のほか、必要に応じて相談・助言等を行います。</p>			<p><b>【事業のゴールの数値目標】</b> 保育所等の申込受付：2,500件</p> <p><b>【設定理由】</b> 少子化の影響もあり、需要の減少が見込まれるため令和3年度の実績をもとに設定する。</p>					
<p><b>【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】</b> 相談窓口の周知</p>			<p><b>【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】</b></p> <p><b>【設定理由】</b></p>					
予算	予算額（円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額（円）	0	0	人事課とりまとめ				
ゴールの数値目標	目標値	-	2,300	2,350	2,400	2,450	2,500	
	実績値	2,286						

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 5 - 2 - 17 18

小事業	公営住宅整備事業		課名	住宅課				(令和4年4月1日現在)
説明文			数値目標					
<p><b>【事業のゴール】</b>                  多子世帯（18歳未満の児童が3人以上いる世帯）、子育て世帯（同居親族に小学校就学前の児童がいる世帯）のうち、住宅に困窮している低所得者に対して、低廉な家賃で市営住宅等を提供することで、自立への支援を行っていく。</p>			<p><b>【事業のゴールの数値目標】</b>                  多子世帯向け：2戸                  子育て世帯向け：20戸</p> <p><b>【設定理由】</b>                  空家の有効活用・地域活性化につながるように、また、ゆとりをもって住み続けられる安全で快適な住環境を創出するために、予算の範囲内で空家改修をおこなう。</p>					
<p><b>【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】</b>                  制度の周知</p>			<p><b>【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】</b>                  しみんだより掲載：年4回</p> <p><b>【設定理由】</b>                  一年を通してホームページに情報掲載するとともに、引き続き、定期空家募集月にはしみんだよりに情報掲載し広報していく。</p>					
予算	予算額（円）	10,000(多子)、7,800(子育て)	4,000(多子)、20,000(子育て)					備考
	決算額（円）	8,616(多子)、8,743(子育て)						
ゴールの数値目標	目標値	4	4					
	実績値	4						

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 5 - 2 - 19

小事業	学校教育活動支援経費		課名	学校教育課、保育総務課				(令和4年4月1日現在)
説明文			数値目標					
<p><b>【事業のゴール】</b>                  奈良市の幼稚園、こども園、小学校及び中学校（以下「市立学校」という。）に学校サポーターを派遣し、教育活動を行う学校サポートを実施することにより、市立学校における教育活動の円滑な実施に寄与するとともに、学生の教育専門職への意識及び素養を高めること。</p>			<p><b>【事業のゴールの数値目標】</b>                  学校サポーター：200人</p> <p><b>【設定理由】</b>                  新型コロナウイルス感染症の流行前の200人前後にR7には戻るよう設定する。</p>					
<p><b>【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】</b>                  連携する大学への周知徹底及びホームページの充実                  配置前の研修の実施</p>			<p><b>【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】</b>                  市ホームページの更新 2回/年</p> <p><b>【設定理由】</b>                  連携10大学以外への周知の徹底</p>					
予算	予算額（円）	96,000	94,000					備考
	決算額（円）	67,883						
ゴールの数値目標	目標値	150	165	180	190	200	200	
	実績値	142	-	-	-	-	-	

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 5 - 2 - 20

小事業	学習支援事業経費		課名	子ども育成課 (令和4年4月1日現在)				
説明文			数値目標					
<p><b>【事業のゴール】</b>                  貧困の連鎖を断ち切るため、経済的困難を抱える世帯の子どもに規則正しい生活習慣や学習習慣を定着させ、高等学校等に進学させる。</p>			<p><b>【事業のゴールの数値目標】</b>                  学習支援参加者の高校等進学率（％）</p> <p><b>【設定理由】</b>                  国が掲げる子供の貧困対策に関する大綱より「生活保護世帯に属する子どもの高校等進学率」及び「ひとり親世帯の子どもの高校等進学率」が挙げられており、本事業における参加者も生活保護世帯やひとり親世帯の子どもの中学生を対象としており、卒業後の就労状況を鑑みるに高校等に進学することが子どもの貧困対策として有効であると考えられる。同時に子育て支援の観点から有効であるとみられる。</p>					
<p><b>【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】</b>                  委託事業者に対して、参加している子どもに寄り添った指導・支援をするよう指導する。</p>			<p><b>【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】</b>                  事業視察の回数を増やす（年2回→4回）</p> <p><b>【設定理由】</b>                  定期的な視察により、子どもに対する指導・支援が行き届いているかを見て、必要なら方向修正を早期に行えるようにするため。</p>					
予算	予算額（円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額（円）							
ゴールの数値目標	目標値	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
	実績値	100%						

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 5 - 2 - 21

小事業	地域で決める学校予算経費		課名	地域教育課 (令和4年4月1日現在)				
説明文			数値目標					
<p><b>【事業のゴール】</b>                  地域で学校を支援する仕組みづくりを促進し、子どもたちの学びを支援するだけでなく、活動を通じて、地域のつながり・絆をより強く結び付け、活力あるコミュニティの形成と、多様なネットワーク・協働体制を確立する必要がある。そこで、本事業において、中学校区を単位に地域全体で、子どもを育てる体制を確立し、子どもたちの教育活動の充実を図るとともに、地域の教育力の向上と地域コミュニティの活性化を図ることを目的とする。</p>			<p><b>【事業のゴールの数値目標】</b>                  ボランティア協力者数：115,000人（2026年度）</p> <p><b>【設定理由】</b>                  地域と学校が連携・協働した事業を推進し、地域全体で子どもを守り育てる仕組みづくりや地域の教育力の再生・地域コミュニティの活性化を目指すには、多くの地域ボランティアの参画が必要であるため。</p>					
<p><b>【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】</b>                  地域学校協働活動に参加するボランティア協力者の増加</p>			<p><b>【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】</b>                  ボランティア協力者数：115,000人（2026年度）</p> <p><b>【設定理由】</b>                  地域と学校が連携・協働した事業を推進し、地域全体で子どもを守り育てる仕組みづくりや地域の教育力の再生・地域コミュニティの活性化を目指すには、多くの地域ボランティアの参画が必要であるため。</p>					
予算	予算額（円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額（円）	65,629,000	65,592,000					
ゴールの数値目標	目標値	62,500	73,000	83,500	94,000	104,500	115,000	
	実績値	56,418						

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 5 - 2 - 22

小事業	小学校特別支援教育就学奨励経費		課名	教育総務課 (令和4年4月1日現在)				
説明文			数値目標					
<p>【事業のゴール】 特別支援学級への就学のために必要な援助を行い、特別支援学級に在籍する児童・生徒が安心して義務教育を受けられる環境を整える。</p>			<p>【事業のゴールの数値目標】 なし</p> <p>【設定理由】 国の補助事業であり、国の認定基準に沿って対象者に就学奨励費を支給する事業であることから、目標値の設定は適当でない。</p>					
<p>【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】 必要な支援が行きわたるように、特別支援学級在籍全児童・生徒について、申請又は辞退の意思確認を行う。</p>			<p>【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】 特別支援学級在籍児童・生徒について調書の提出率を100%で維持する。</p> <p>【設定理由】 学校を通じて、申請又は辞退を申し出るための調書の提出を依頼している。全員について調書の提出を受けることで、必要な援助が行き渡るようにするため。</p>					
予算	予算額（円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額（円）	31,084,000	34,927,000					
ゴールの数値目標	目標値	—	—					
	実績値	—	—					

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 5 - 2 - 23

小事業	児童・生徒支援教員経費		課名	学校教育課 (令和4年4月1日現在)				
説明文			数値目標					
<p>【事業のゴール】 ・学校社会生活におけるコミュニケーションの為に日本語の力を身につける。 ・教科の学習に参加する為に日本語の力を高める。 ・アイデンティティ形成・自己実現に向けてことばを使う力を育む。</p>			<p>【事業のゴールの数値目標】 なし</p> <p>【設定理由】 日本語指導が必要な児童生徒への日本語指導員は100%派遣している。全ての日本語指導が必要な児童生徒の学習活動への参加を保障するための派遣であるが、対象児童生徒の状況が多様であるため、一律に数値目標を設定することはそぐわない。</p>					
<p>【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】 日本語指導員のさらなる資質向上をめざすため、定期的に担当者会を実施することや、コーディネーターの参観での助言や提案、貸出参考教材を充実させること。</p>			<p>【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】 担当者会の参加のべ人数 50人</p> <p>【設定理由】 日本語指導員の資質向上を担保するため</p>					
予算	予算額（円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	決算額（円）	4,616,000	5,788,000					
ゴールの数値目標	目標値	—	—	—	—	—	—	
	実績値	—	—	—	—	—	—	

奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策計画）

事業進捗シート

No 5 - 2 - 24

小事業		生徒指導推進経費		課名		いじめ防止生徒指導課		(令和4年4月1日現在)	
説明文					数値目標				
<p><b>【事業のゴール】</b>                  問題の要因を表面的に判断するのではなく、「子どもがなぜそのような行動をとるのか」「子どもは何に困っているのか」等、児童生徒が抱える本質的な課題をスクールソーシャルワーカーが学校の教職員と共に見立て、児童生徒や家庭が課題解決していけるよう、学校に対し、支援体制づくりや専門的な助言、関係機関等との連携の仲介ができるようにする。</p>					<p><b>【事業のゴールの数値目標】</b>                  ケース数：500件</p> <p><b>【設定理由】</b>                  令和3年度の実績をもとに設定する。</p>				
<p><b>【事業成功の鍵となるもの（事業を強化すべき部分）】</b>                  市立学校へスクールソーシャルワーカーの活用についてガイドラインと共に周知し、各校の実情に応じた児童生徒の困り感に寄り添い、教職員と共に対応する。</p>					<p><b>【KPI（事業成功の鍵となる数値目標）】</b>                  教職員への研修：1回/年</p> <p><b>【設定理由】</b>                  スクールソーシャルワーカーの活用を各校へ研修を通じて伝えることで、各校からスクールソーシャルワーカーへの依頼と繋がるため。</p>				
予算	予算額（円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考	
	決算額（円）	6,794,522	9,639,401						
ゴールの数値目標	目標値	—	500	500	500	500	500		
	実績値	544							